

第24組 広報

発行日
2014年7月1日
第160号
発行責任者
組長 美濃部俊裕

新年度の方針

—「土徳を大切に」—

組長 美濃部俊裕



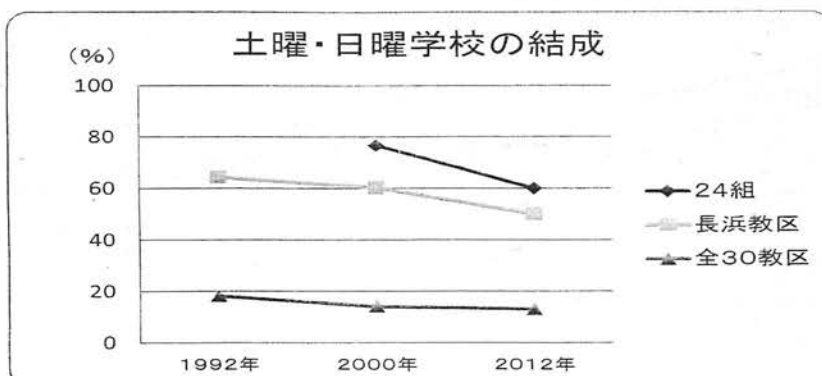
先日開催致しました組同朋大会には、百人を超える皆さんにご参加いただき、讓先生の熱のこもったご講演をお聞きすることができました。厳しいお言葉でしたが、ありがたいお話でありました。ご講演の後、質問に立たれたお二人からご自分の思いや経験を通して発言をいただきました。お陰で講演の内容を我が身に引き寄せて確かめ深めることができました。

長浜教区や湖北の地域に親鸞聖人の教えが生活に根付いている様子を「土徳」いいですが、時代とともに薄らいでいるようです。しかし、私たちはこれを大切にしていかなければならないと思います。

私は、時代社会が急速に変化する中で、何としても守っていくべきものは何であるのか。工夫を加えて形を変えていくべきものは何か。あきらめざるを得ないものは何かなどについて、見直しを持つ必要があると考えています。組長としての3年間、皆様からのご意見を聞きながら進めていきたいと思ひます。

今年発表された宗派のアンケート調査の結果を分析しますと24組は、組や教区事業への参加、役員の方選、役員会の開催などは他と比べて非常によい結果となっています。なるほど組の事業を開催しますと役員さんを中心に多くの方が参加していただいています。一方で心配な点もあります。それは土曜・日曜学校を中心とする子どもたちへの教化、そして婦人会の結成率や同朋会活動です。

組事業の意義は、多くのご門徒に事業に参加していただき、直に教えに触れたり研修したりしていただくこともありますが、より重要なのはそれが各お寺の活性化に結びつくことです。今述べたことを大切に、皆さんとともに各事業に取り組んでいきたいと考えています。7月から新年度に入りますが、今後ともご協力をよろしくお願ひします。



盛大に同朋大会開催

—組内23ヶ寺より110名が参加—



去る6月8日(日)午後1時より、誓海寺(木之本町大音:谷孝之住職)において、24組同朋大会が開催されました。組内30ヶ寺中23ヶ寺から、住職・坊守・門徒等110名が集まり、講師に讓西賢先生(岐阜聖徳学園教授)をお迎えし、「たまわる心の健康」一心の叫びに耳傾けて—のテーマの下、有意義な研修会となりました。

新緑の爽やかな天候に恵まれ、開会前には本堂は参加者で埋め尽くされ、縁側に座られる方もありました。水上門徒会副会長の司会進行により、先ず真宗宗歌斉唱、続いて美濃部組長から開会の挨拶がありました。宗門が実施した教勢調査の結果をご紹介され、寺院の教化・経営等が危機的状況といわれる中であって、組を主軸として、本来の真宗寺院の姿に回復すべく皆様と力を合わせていきたいと述べられました。

次に熊野組教導からは、「いのち」の尊さ、「人の」温もりが見失われている現代、仏教の教えを通して「私には何が願われているのか」を確かめて行きたいと、本大会の趣旨説明がありました。趣旨については、教化委員会で何回も学習・協議され、まとめられたものです。

続いて谷坊守会副会長から講師のご紹介があり、讓先生から2時間にわたってお話しをしていただきました。先生はレジュメを準備され、心理学やカウンセリングを専門にしておられる立場から、①日ごろの私の心(例:ハッピーエンド症候群・能力至上主義)、②たまわる安らぎ(無義なる人間存在)、③日常性からの脱却という受容、④真実の利なる回向、⑤人に負けて信をとるといふこと、⑥真宗の日常生活に届く用(はたらき)き。の6項目に分け、具体的な事例などをあげながら、ユーモアを交えて、分かりやすくご教示くださいました。参加者は先生のお話しに吸い込まれるように、時には笑い時には頷き、仏法満喫を実感されておられるようでした。

お話しが終わると2人の方が日常生活の中で抱えられている問題を質問されましたが、先生は終了時間を気にされながら、懇切丁寧にお応えくださいました。

最後に、小高門徒会々長から閉会の挨拶があり、お話しの中で特に東日本被災地への更なる支援を呼びかけられました。恩徳讃斉唱の後、「とてもよい大会だった…」と参加者は笑顔で帰路につかれました。

(広報委員・秦)



お寺の掲示板

みょうらくじ
明楽寺 (木之本町木之本)

「お寺の掲示板」今回は、木之本の明楽寺さんを訪問しました。

木之本は、皆さんもよくご存じの田上山の麓にあり北国街道、北国脇往還の宿駅として交通の要衝で本陣もあることから栄えてきた街で約七〇〇戸余り有ります。当寺は北国街道沿いで街のほぼ中央にあります。

正面の左側に掲示板があり『人生とはその日その日のこと』というお言葉が書かれてありました。藤谷愛嗣住職は、本やテレビ、新聞の良い言葉があるとその時その時掲示されるとのことでした。

その内容は、「人からよく見られたい、お金持ちになりたいなど理想、目的ばかりを追って生きていくとストレスになり自分を苦しめることとなります。そうでなく人生の旅の中で、その日その日の生活のしかたや、人生の歩みの過程(道中)が大切であり、人生を楽しくも苦しくもすることは自分



であり、どんなことでも常に良い方にして生活すると、その考え方一つでよい方に変わります。」とのことでした。

また、住職は、「毎日毎日の生活で迷っても良い、腹を立てても良い、道草をしても良い、また後戻りしても良い。人生の目的は生きることです。」とも、話して下さいました。

皆さんも一度「明楽寺」さんに、お参りされ掲示板のお言葉に触れられたらと思われました。

(取材・広報委員 林)

各寺の法座等のご案内

寺院名	法座名	期	日	法話者
浄教寺 (東阿閉)	墓参会	8月12日 (火)	11時	澤面宣了氏
覚勝寺 (西阿閉)	墓参法要	8月12日 (火)	14時	住職
随願寺 (柳野中)	墓参り	8月13日 (水)	11時	住職
妙覚寺 (東柳野)	墓参り	8月12日 (火)	11時・16時	代務住職
梅龍寺 (磯野)	墓参り	8月13日 (水)	8時	住職
双林寺 (西物部)	永代経	7月5日 (土)	10時	
双林寺 (西物部)	墓参り	8月12日 (火)	11時	
猶存寺 (布施)	墓参り	8月13日 (水)	9時30分	佐藤義成氏
長照寺 (唐川)	墓参法要	8月10日 (日)	10時	高岡 淳氏
		8月11日 (月)	6時・10時	住職・副住職
明楽寺 (木之本)	文月講演会	7月13日 (日)	13時30分	森 健司氏
	墓参り (遠方)	8月8日・11日	10時30分	
	墓参り (木之本)	8月13日 (水)	7時30分	
圓常寺 (千田)	永代経	8月31日 (日)	10時・13時	勅使英照氏
來入寺 (千田)	墓まいり	8月13日 (水)		住職
明德寺 (黒田)	墓まいり	8月12日 (火)	5時30分	木村智明氏
樹徳寺 (田居)	墓まいり	8月11日 (月)	10時	住職
誓海寺 (大音)	墓まいり	8月13日 (水)	10時	秦 信映氏
明源寺 (今市)	お墓参り	8月12日 (火)	11時	
景好寺 (柳ヶ瀬)	墓参法要	8月14日 (木)	10時	代務住職

長浜別院夏中日程

【日程】 7月2日（午後より）～10日

★「夏の御文」拝読・法話 午前10時～15時30分（2日は午後より）

★ 暁天講座 午前5時40分～6時30分（3日～10日）

≪「夏の御文」拝読・法話講師≫

2日 春近 寛氏（14組・皆念寺）
3日 藤本 勝氏（敦賀組・高雲寺）
4日 光明 祐寛氏（20組・養本寺）
5日 笹原 弘正氏（19組・正福寺）
6日 森 清隆氏（23組・本光寺）
7日 三山 元暎氏（13組・真勝寺）
8日 澤面 宣了氏（16組・浄願寺）
9日 笠原 俊海氏（15組・持専寺）
10日 伊藤 尚典氏（13組・真入寺）

≪暁天講座≫

3日 寺本 智教氏（17組・願久寺）
4日 國友 強氏（19組・浄行寺）
5日 七岡 朋子氏（15組・田勝寺）
6日 秦 信明氏（24組・明德寺）
7日 橘 寛氏（22組・安立寺）
8日 園 悦子氏（20組・空念寺）
9日 坂本 名願氏（22組・浄明寺）
10日 河崎 顕祐氏（15組・覚應寺）

五村別院夏中日程

【日時】 8月5日（午後より）～10日

★「夏の御文」拝読・法話 午前10時～15時（5日は午後より・10日は15時30分まで）

★ 暁天講座 午前5時40分～6時30分（6日～10日）

≪「夏の御文」拝読・法話講師≫

5日 三原 了雲氏（22組・来現寺）
6日 長谷 良雄氏（14組・利覺寺）
7日 益田 弦氏（敦賀組・眞願寺）
8日 松下 幸市氏（23組・勝徳寺）
9日 大村 治氏（19組・本徳寺）
10日 一色 孝氏（13組・光西寺）

≪暁天講座≫

6日 早寄 和典氏（22組・要誓寺）
7日 宮部 等氏（19組・法信寺）
8日 谷 寿子氏（24組・誓海寺）
9日 武田 晃威氏（16組・遍増寺）
10日 春近 環氏（14組・皆念寺）

※五村別院への行路 → JR 虎姫駅下車⇒徒歩で10分

大谷大学「夏季巡回講演会」のご案内

大谷大学同窓会長浜支部（早寄得雄支部長）主催の講演会が、下記の通り開催されます。
五村別院「夏中」のお参りに続いて是非ご聴聞ください。入場は無料です。

日時： 8月5日（火）午後3時30分～5時 ＊引き続き総会を予定しています。
会場： 五村別院茶所 ＊椅子席を準備しております。
講師： 三木 彰円 大谷大学准教授（真宗学）
講題： 浄土真宗の人間観